

Sonic Interaction 2021

concert
statement

あー、ごめんなさい…/このコンサート(Sonic Interaction 2021 (もう2022年なのにね。変ですね))は、特定の目標に向かってキュレーションされているものではありません。わたしたちはあくまで、現時点に存在する個人的な興味の実践を持ち寄り、コンサートホールという場を借りてそれらの塊(接着されてすらいない…)を実行しています。今回の演出チームは、コンサートホールに潜む聴取への強制が好意的に利用されていることを望み、それを額縁に喩えます。あらゆるコンサートは暗黙の額縁のうちに存在しています。今回わたしたちが試みるのは、それを露わにすることもかもしれません。演出チームは、このコンサートに関わる全ての人間が、規範の中に無意識に取り込まれることを望みません(しかし、誰かがそれを望む場合は、その限りではありません)(いかなる強制も行われぬ)。わたしたちは明らかにいびつで、不安定で、不確定です。全てのプログラムが終了した時、わたしたち個々の存在と額縁が、同様に光り輝いて/見るとうれいす。それではお楽しみください。

本イベントについて

アコースティック楽器の生演奏とコンピュータを組み合わせたライブエレクトロニクスをはじめ、映像やセンサーデバイス、舞台表現など、さまざまな手段やメディアを用いて、音を中心に広がる今日の表現を試みます。さらに、作品の発表のみならず、イベントの企画制作から会場設営、PA、モニタレーション、舞台転換、照明、広報などにいたるまで、すべてを学生自身で手がけています。その過程は、音楽を伝える従来の方法を検証し、さらには新たな音楽文化のあり方を問う、思考と試行の場となっています。



企画・制作
Sonic Culture Design

お問合せ
国立音楽大学
コンピュータ音楽研究室

東大和市民会館
ハミングホール・小ホール
〒207-0013
東京都東大和市向原6-1
西武拝島線「東大和市駅」
より徒歩7分

チケット予約
こちらから
ご予約いただけます

